



図書館ニュース

「人権」に関する本が入りました

探究学習にいかがでしょうか？
例えばこんな内容です

『在日韓国人になる』

(林 晟一／著 CCCメディアハウス)

「日本語ワカリマセ〜ン」と言った外国人を、在日コリアン2世の母は「国に帰ればいい」となじった…。戦後の在日コリアンの歩みと、日本に住む移民の実像にせまる。

『女性なぜ男性より貧しいのか？』

(アナベル・ウィリアムズ／著 田中 恵理香／訳 晶文社)

「(現在のペースで) 男女間の賃金格差を解消するには257年かかる」らしい。個人の努力で不平等と闘えないのなら、どうすればいいのだろう？

新着図書

<YA・小説>

『短物語』

西尾 維新／著
講談社

<児童・シリーズ>

『かわいく(なくて)ごめん』

小林 深雪／作
牧村 久美／絵
講談社

<郷土・社会>

『アギャンモコギャンモ大冒険』

長崎文献社／企画・編集
長崎文献社

<一般・心理>

『色でよみとく心理学』

ポーポー・ポロダクション／著
日本文芸社

<一般・社会>

『手書き地図の教科書』

手書き地図推進委員会／編著
川村 行治／[ほか]著
学芸出版社

<一般・科学>

『世界のかげら図鑑』

古河 郁／著
KADOKAWA

<一般・物理>

『透明マントの作り方』

グレゴリー・J.グバー／著
水谷 淳／訳
文藝春秋

<一般・文章>

『落とされない小論文』

今道 琢也／著
ダイヤモンド社

<一般・小説>

『新謎解きはディナーのあとで 2』

東川 篤哉／著
小学館

<一般・文庫>

『小説ふれる。』

額賀 滯／著
KADOKAWA

図書館 カレンダー

この印が休みの日です

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館時間

10時から18時まで

長与町図書館ホームページ

新着本をいち早く

知りたいときは、

ここからどうぞ。



今月の特集コーナー

<児童書テーマ> **「世界にはぼたくマンガ・アニメ」**

『キャラクターデザインの仕事』

(たかい よしかず／著 大日本図書)

アニメになった『怪談レストラン』に出てくる「お化けギャルソン」を作った、たかいよしかずさんが「キャラクターデザイン」という仕事を紹介している本です。アニメが放送されるまでにかかる製作費やスポンサー探しなどの裏話も明かされています。



<一般書テーマ> **「食べて 飲んで 読書して」**

『向田邦子の本棚』

(向田 邦子／著 河出書房新社)

美食家と言われる作家は多いですが、向田邦子さんもその一人です。そんな向田さんが「食いしん坊に贈る」と題して、今まで読んだ本の中から100冊を選びました。中には推理小説も選ばれています。どんな料理が出てくるかに注目しながら謎を解いていくのも、おもしろそうですね。

ミックンの本棚



ミックン



今年のノーベル平和賞に「日本原水爆被害者団体協議会（被団協）」が、ノーベル文学賞に韓国の作家、ハン・ガンさんが選ばれたね。今月は、これらに関する本を紹介するね。

『おり鶴さん』

(西山 進／著 書肆侃侃房)

『おり鶴さん』は、被団協が月1回発行する新聞に掲載された4コマ漫画です。核兵器廃絶へ向けて続けられている運動への熱意や訴える声が、時にユーモアを交えながら漫画を通して力強く伝わってきます。

『私の女の实』(ハン・ガン)

<『ひきこもり図書館』(頭木 弘樹／編 毎日新聞出版)に収録>

これは、ハン・ガンさんの代表作『菜食主義者』が生まれる種となった作品です。大都市のマンションに住み始めたときから、妻は体調を崩しがちになりました。妻は夫に「いっそ遠くへ行こうよ、私たち。」と言いましたが、夫は病院に行くよう促すだけ。やがて妻の体が濃い緑色に変わっていき…。

ここで紹介した本は、すべて長与町図書館で借りられます。予約もできます。